

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年五月度 入選句 (投稿総数千百五十句・小中生投句数五百九十五句)

特選 選者 白井 静子

ふじの花ジャンプでとどく花のさき 大垣市 川合 乃愛(小三)

ふじの花はぶどうのふさのようにつながつて咲きます。長いものも短かいものもありますが、小さな花がいくつもいくつもつながつて咲いています。作者は、そのふじの花の下で手を伸ばしてみたのでしよう。届きそうでも届きません。そこで、ジャンプ！うまく届きました。

花の下で、何度もジャンプしている姿がかわいらしいですね。友達と競っていたのでしようか。仲良く遊ぶ姿がほほえましいです。

しりとりを続けておわらぬ春遠足 大垣市 安田 篤司(小六)

新しい学年が始まり、四月、五月は、遠足の時期です。六年生ともなれば、歩く距離も長くなり、友達と歌ったりおしゃべりをしたりして楽しい時間が過ぎせます。作者の学級では、しりとりをしたのでしよう。次々と言葉がつながって、なかなか終わりません。どの子もが終わりたくなくて、「ん」のつかない言葉を考えています。みんなが一生けん命考えて、気持ちが一いつながっていきます。

春の風車の中を通ってく 大垣市 市川 和(小三)

春の風は冷たくもなく熱くもなく、気持ちがいいですね。車の窓をいっぱい開いて、家族で出かけたのでしよう。その気持ちのよさが伝わってきます。

### 秀逸

こいのぼり家族のみんなはなれない 大垣市 川瀬 英理香(小四)

おどってる風と仲よしこいのぼり 大垣市 西脇 楓華(小四)

しようぶゆにかたまでつかる父と兄 大垣市 高橋 百子(小四)

つばめの子母さんつばめとあそんでる 大垣市 立神 花芽里(小四)

風が出ておよげてうれしいこいのぼり 大垣市 石司 淳果(小四)

風かおるはつばのにおいがとんでくる 大垣市 日比野 未来(小三)

友だちといっきに引くぞ春のやま 大垣市 大橋 佑香(小三)

ぼくの家つばめの夫婦巢を作る 大垣市 吉岡 舜将(小五)

森林の暗やみひとつつじ咲く 大垣市 高松 綺瞳(小六)

水領の湖面のさざ波ほととぎす 三重県四日市市西脇 そうき(中一)

入選

かしわもちにおいもいっしよに口の中	大垣市	川瀬	心瑠(小四)
こいのぼりやまにむかつておよいでる	大垣市	大倉	優舞(小四)
こいのぼりこどもがんばりおよいでる	大垣市	佐野	諒(小四)
さかなくん春の小川でまえならえ	大垣市	川瀬	大志(小四)
ふじの花ははのだったこでとどいたよ	大垣市	三輪	奈海(小四)
さくらもちかかってかかってとならん	岐阜市	三輪	芹奈(小三)
つくしとりおねえちゃんくらべっこだ	大垣市	杉原	勇次(小一)
まようなあなに色かけようかき氷	大垣市	川瀬	朱莉(小三)
おこられて見上げてみればこいのぼり	大垣市	芦野	涼也(小三)
ありさんがせつせつせつせとかしはこぶ	大垣市	吉岡	杏紗(小三)

入選

みどりの葉歌っておどって楽しそう	大垣市	大河	加梨奈(小三)
しろつめくさいっぱいさいて大家族	大垣市	浅野	聡美(小三)
かたつむりからをせおって学校へ	大垣市	日比	輝星(小三)
たんぽぽの子どもたちみな旅にでる	大垣市	岡野	慎(小五)
たんぽぽのわた毛が命をつないでる	大垣市	石原	呼春(小五)
友達としゃべって笑う若葉風	大垣市	板垣	香穂(小六)
初夏の風つかれた私前へおす	大垣市	安田	朱里(小六)
けんかしてなのはなあげたらなかなおり	大垣市	梅村	はる(小三)
けんかして少しさみしい春の夜	大垣市	梅村	みずき(小五)
こつくりとねむくなっちゃうはるのひる	大垣市	木村	ひな胡(小五)

選者吟

朝顔の双葉日に揺れ風に揺れ

白井 静子